

国
語注
意

1. 監督者の合図があるまでは問題冊子と解答用紙を開かないでください。
2. 別紙の解答用紙は、マークシート解答用紙と記述解答用紙とに分かれています。指定された解答欄をまちがえないように注意してください。マークシート解答欄は余りがでることがあります。
3. マークシート解答用紙は直接コンピューターにかけますので、折りまげたり、よごしたりしないでください。また枠で囲まれた部分以外には記入しないでください。
4. マークシート解答用紙にマークするときは該当する○にはつきりとマークしてください。
マークのしかた (良い例) ●
(悪い例) ○ × ⊗ ⊙ ⊖
5. (万年筆、ボールペンなどは使用してはいけません)
マークシート解答用紙に誤ってマークした場合には、消しゴムで跡が残らないようにていねいに消し、消しかすをきれいに払ってください。
6. 試験開始後、マークシート解答用紙には氏名、受験番号を記入し、さらにその番号をマークしてください。なお、受験番号を記入するときにはマークシート解答用紙の「受験番号記入上の注意」をよく読んで、まちがいのないようにしてください。
7. 記述解答用紙には、氏名、受験番号を記入してください。
7. 試験問題はこの冊子の十ページに記載されています。
8. 問題冊子の余白部分は、メモとして利用して構いません。
8. 試験終了後、この問題冊子は持ち帰ってください。

I フランスの哲学者アンリ・ベルクソンは一九三二年に、最後の主著となる『道德と宗教の二つの源泉』（本文中では『二源泉』）を發表した。この書物に関する次の文章を読み、後の問に答えよ。

神秘家は、とびとびにしか出現しないという非連続性を、いわば運命づけられているが、物質への外的な支配については、連続的な進歩が可能だし、事実、とりわけ近代以降の西洋では、着実な進歩をしるしてきた。それは、人間の中心能力である知性が、なによりも得意とする行き方だったからである。技術的な発明と製作を推しすすめること、それは、人間的あまりに人間的な道なのだ。このような行き方を、ベルクソンは機械系(*la mécanique*)と呼ぶ。

ただ、ベルクソンが機械系ということで考えているのは、簡単な道具の域を超えた諸機械の体系と、政治的、社会的組織との複合体のことと思われる。したがって、機械系が顕在化するのとは、近代以後のことと見てよいだろう。

これに対して、神秘家の切り開く行き方を神秘系(*la mystique*)と呼んでいる。ただ、神秘主義は少しずつしか広まらない。小さな集団を作りつつ、広めていくしかないのである。〔中略〕

機械系と神秘系のあいだに、ベルクソンは、歴史を駆りたてる法則めいたものを見てとっている。かといって、歴史の進展をつかさどる必然性を信じているわけではない。その法則とは、二つの傾向があるとして、そのうちのひとつがいったん力をはじめると、ほとんど狂乱状態といえるところまで突きすすむが、もうひとつの傾向は、

ひかえていて、機会があれば取ってかわるというものだ。それをベルクソンは、二重狂乱の法則と呼ぶ。重要なのは、潜伏していた傾向が新たに取ってかわるとき、それまでに得られたものから、それなりの益を得るということだ。〔中略〕

神秘系とは、神の愛に値するべく、人々への分けへだてのない愛を実践し、広めようとする道である。そのためには、争いのもととなる所有権を放棄するよう導くことも、いとわない。神秘主義が

2

生活を招きよせるゆえんである。しかし、飢

え、渴いて死にそうな人に、愛を説いても、なにほどの効果があるだろうか。ましてや、餓死寸前の子をかかえた親たちにとって
は、3 よりは食べ物がいかにきまっていよう。

したがって、機械系が主導的になったとしても、神秘系にとって不利益ばかりとは限るまい。産業の発展により、食料が行き
わたり、最低限の生活が保障されるようになったあかつきには、人類が、こぞって神の愛に値する道を歩みはじめることも、夢
ではなくなるからである。

その一方で、潜伏したかに見えた神秘系も、機械系が飛躍的な進展を示すただ中で、1 作用するかもしれない。ベル
クソンは、その種の格好の例として、民主主義を挙げている。

産業が大躍進をとげはじめるのと同じ一八世紀に、民主主義が生まれたことにベルクソンは注目するのである。民主主義の最
初の息吹こそが、発明精神をささえたのではないのか、とさえいうのだ。

自由・平等・博愛とは、民主主義をあらわすものとして、一八世紀末に成立したフランス共和政の標語となった。自由と平等
とは、本来なら相性の悪い言葉だろう。自由な活動を野放しにしておけば、とんでもない不平等を生じさせかねないからだ。⁴
かし、こういった矛盾しかねない両項を、博愛が結ぶのである。

ベルクソンが示唆するとおり、実際の民主主義に、決定的なかたちというものがなく、ことに留意しなくてはなるまい。万民
を同じように満足させることは、事実上、不可能といえるからだ。逆にいえば、自由と平等を結びあわせる博愛そのものに、創
意がためされもするのである。

非民主的な社会の標語を、ベルクソンは「権威、位階、固定性」というふうに変式化してみせた。それは、閉じた社会の政治思
想をあらわすものでもあるだろう。民主主義とは、閉じた社会の条件を超えようとする唯一の政治思想だと、ベルクソンは見
る。

閉じた社会から決定的に踏み出させるもの、それはエラン・ダムールであり、真の神秘主義であつた。そしてその最初の体现者となつたのは、福音書のイエス・キリストであつた。自由と平等との矛盾をはらんだまま、民主主義を創造したのは、ほかでもない博愛だつたとすれば、そこにも、福音的なものが流れているはずだろう。すなわち、民主主義とは、潜伏しているはずの神秘系の発露でもあつたのだ。

機械系は、必要なまでの贅沢品を一部の人のために生産するほうへ向かいもすれば、生活必需品を、できるだけ多くの人たちに行きわたらせるよう働きもしよう。万人の平等を唱える民主主義を作りだした情動が、機械系を、後者の方向へと発動させようとしたことは、十分に考えられる。

そして、そのような意味での機械系ならば、神秘主義の普及にむしろ有利に働くだろう。すでにいったように、餓死しかけた人に、神の愛に値するようにとの思いは伝わりようがないからである。時代の牽引役は、確かに、神秘系から機械系へと転換したかもしれない。しかし、見方を変えれば、⁵ほかならぬ神秘系こそが、それを求めたともいいえよう。『二源泉』四章での、ベルクソンのいい方にならえば、「神秘系は機械系を呼びもとめる」のである。

二重狂乱の歴史から見ると、西洋の近代は、機械系が神秘系に取つてかわつたということ、規定される。それはそれで間違ではないのだが、二重狂乱については、一方の系が圧倒的な駆動力を発揮しながらも、他方の系を招請するということを忘れてはならない。

こうして、西洋の中世において、神秘系が歴史を牽引^{けん}しつつ、機械系を呼びもとめてもいたといえらるれば、近代においては、機械系が歴史を主導しつつも、「神秘系を要請する」(『二源泉』四章)といえるのだろうか。

近代の発端においては、神秘系の行きすぎに機械系が反旗をひるがえすという面とともに、神秘系が機械系を呼びもとめるといふ面もあつた。当初は、ほんのちよつとした向きの違いだったものも、いつのまにか大きなへだたりとなつてしまう。ちよつ

とした舵の切りちがえも、とんでもない方向に向かわせかねないのだ。機械系が、もつと神秘系の呼びもとめに応じていたならば、地球上に、こんなに多くの飢え苦しむ者たちが生まれただろうか。

発明能力と産業主義は、確かに、人間の身体的能力を飛躍的に拡張したかもしれない。遠方へと速く精確に、自らの操作を及ぼす能力は、確実に向上したし、これからも向上するだろう。しかし、人類を神の愛に値するものへと生成させるには、拡張する一方の身体的能力を、開いた魂で満たさねばならないだろう。

機械系は、人類のごく一部の贅沢と虚栄の方向へと、舵を切りすぎたようだ。このままでは、自己保存と閉じた社会のためにしか使われないという保証はない。そこに、快楽への道は用意されてはいるだろう。しかし、歓喜への道は閉ざされかねまい。快楽が種の自己保存のために用意されたものだとするれば、歓喜は創造のあかしである。人類にとって、考えられる最大の創造とは、人類をまるごと別のものへと生成させるということにあるとするれば、そこにこそ最大の歓びが見出されましょう。それこそ、神秘家の指ししめす神への道であり、

6

 社会への道である。

ベルクソンは、機械系が神秘系を招きもとめることにより、簡素で質素な生活への転換が起こるのを夢見ていたようだ。いや、少なくとも、そのようなかたちで神秘系が機械系を牽引するようにならなければ、人類は破滅しかねないとの危機感を、切実なまでに感じとっていたように思われる。〔中略〕

いずれにせよ、一部の社会のため、一部の人たちのために、機械系が使われるにまかされるならば、人類の破滅さえ招きかねまい。すでに、ベルクソンが『二源泉』を刊行した翌年には、ナチスはドイツに支配権を確立した。ベルクソンの晩年には、ナチス・ドイツが勢力を拡張しつづけ、パリもまた、占領されるにいたったのである。ベルクソンが亡くなったのは、ほかでもない、ナチス占領下のパリにおいてだった。このナチスが自らの民族主義政策に、機械系を巧みに組みこんだことは、よく知られている。

二一世紀になったいま、軍事的殺傷能力は、当時の比ではあるまい。この技術が、もっぱら一部の勢力のために使われたならば、人類破滅の確率はいよいよ高くなるだろう。そもそも、人間は「7」。『三源泉』を締めくくるにあたり、ベルクソンは、確認を迫るかのように、そう問いつめた。機械系の暴走が、地球環境をもあやうくしかねないことを思えば、この問いの重みは、いよいよ増しているように思われる。

(篠原資明『ベルクソン』より)

注 エラン・ダムール フランス語で「élan d'amour」と表し、日本語では「愛の躍動」と訳される。

問一 二つの空欄1に入るもつともふさわしいものを次から選び、その数字をマークせよ(解答欄はマークシート a)。

- | | | | | |
|--------|--------|--------|---------|--------|
| ① しつぱり | ② ひそかに | ③ うかうか | ④ いの一番に | ⑤ けろりと |
|--------|--------|--------|---------|--------|

問二 空欄2に入るもつともふさわしいものを次から選び、その数字をマークせよ(解答欄はマークシート b)。

- | | | | | |
|------------------------|------------------------|------|------|------|
| ① 隠遁 <small>とん</small> | ② 放蕩 <small>とち</small> | ③ 貪欲 | ④ 独居 | ⑤ 禁欲 |
|------------------------|------------------------|------|------|------|

問三 空欄3に入るもつともふさわしいものを次から選び、その数字をマークせよ(解答欄はマークシート c)。

- | | | | | |
|------|-------|-------|------|------|
| ① 金銭 | ② 飲み物 | ③ 御守り | ④ 偶像 | ⑤ 説教 |
|------|-------|-------|------|------|

問四 傍線部4「しかし、こういった矛盾しかねない両項を、博愛が結ぶのである」の理由として、ふさわしくないものを一つ選

び、その数字をマークせよ(解答欄はマークシート d)。

- ① 博愛は、自由を抑圧することだから。
- ② 博愛は、所有にこだわらなくなることだから。
- ③ 博愛は、個人個人を慈しむことだから。
- ④ 博愛は、人を分けへだてなく愛することだから。
- ⑤ 博愛は、命を救う行動を起こさせるものだから。

問五 傍線部5「ほかならぬ神秘系こそが、それを求めたともいいえよう」の理由を、記述解答用紙I5の指定に即して三十五字以上、四十五字以内で答えよ(句読点も一字と数える)。

問六 空欄6に入る言葉を本文中から三文字で抜き出し、記述解答用紙I6に記せ。なお、当該の段落とその前段落を精読した上で答えること。

問七 空欄7に入るもともふさわしいものを次から選び、その数字をマークせよ(解答欄はマークシート e)。

- ① 生きつづける意志があるのか
- ② ナチスを反省しているのか
- ③ 死んだら神の愛を得られるのか
- ④ 核兵器を持つ必要があるのか
- ⑤ 自然を破壊し過ぎてはいないだろうか

Ⅱ A

次の1～3の（ ）内のカタカナを漢字に直し、4～6の（

）内の漢字の読みをひらがなで記せ（解答欄は記述解答

用紙Ⅱ A 1～6）。

- 1 社会制度は（シヨセン）人間の作り出した仮構にすぎない。
- 2 旧版と新版の（イドウ）を調べる。
- 3 国や地域の経済状況を数値化したものを、経済（シヒョウ）という。
- 4 この半年の時間の使い方で、二人の間には（雲泥）の差ができた。
- 5 （旬）の料理を味わう。
- 6 議会は庁舎の建替えを時期（尚早）と判断した。

Ⅱ B

次の7～10の（

）内のカタカナと同じ漢字が当てはまるものを①～⑤からひとつ選び、その数字をマークせよ（解答欄

はマークシート

f

i

）。

7 わがチームは思わぬ苦（ハイ）をなめた。

① 「ハイ」北する ② 支「ハイ」する

③ 祝「ハイ」をあげる ④ 「ハイ」読する

⑤ 後「ハイ」

8 （キョウ）竜の化石が見つかった。

① 「キョウ」器 ② 発「キョウ」

③ 弱肉「キョウ」食

④ 「キョウ」縮

⑤ 「キョウ」弟

9 川は（ダ）行しながら、平野へと続く。

① 「ダ」落する

② 「ダ」目出しを受ける

③ 「ダ」撃を受ける

④ 「ダ」当性

⑤ 「ダ」足

10 二千年前の哲人の言葉に感（メイ）を受ける。

① 「メイ」手

② 「メイ」信

③ 墓碑「メイ」

④ 「メイ」日

⑤ 風光「メイ」媚

Ⅲ 関白左大臣(文中「父殿」)には二人の妻がおり、ひとりには男児、もうひとりには女兒がいた。次の文章を読んで、後の問に答

えよ。

若君はあさましう物恥【人見知り】ちをのみし給ひて〔中略〕父殿をも疎うとく恥づかしくのみおぼして、やうやう御文習ふみ漢文を勉強しはし、さるべきことどもなど教へきこえ給へどおぼしもかけず、¹ただいと恥づかしとのみおぼして、御帳みぢやうのうちにのみ埋うづもれ入りつつ、絵書き、
2 遊び、貝おほひなどし給ふを、殿はいとあさましきことにおぼし宣のたまはせて、常にさいなみ給へば、果はてはては涙をさへこぼして、あさましうつつましのみおぼし³つつ、ただ母上、御乳母めのと、さらぬはむげに小さき童わらはなどにぞ見え給ふ。〔中略〕
いとめづらかなる事におぼし嘆なげくに、また姫君は、今よりいとさがなくて、⁴をさをさ内にもものし給はず、外とにのみつとおはして、若き男おのこども、童わらわべなどと鞠まり、小弓などをのみもてあそび給ふ。御出居いでみにも、人々参りて文作り、笛吹き、歌うたひなどするにも走り出で給ひて、もろともに人も教へきこえぬ琴、笛の音ねもいみじう吹きたて弾ひき鳴らし給ふ。〔中略〕参り給ふ殿上てんじやう人、上達部かんだちめなどは〔中略〕この御腹【この奥様のお子様】のをば姫君ときこえしはひが事なりけりなどぞみな思ひあへる。〔中略〕御心のうちにぞいとあさましく、かへすかへすとりかへばやとおほされける。

(「とりかへばや物語」より)

問一 傍線部1「おぼしもかけず」の現代語訳としてもっとも適切なものを次から選び、その数字をマークせよ(解答欄はマーク

シート j)。

- ① かかさず思い ② 眼中になく ③ 余念なく ④ 拒否して ⑤ 遠慮なく

問二 空欄2に入るもつとも適切な語を次から選び、その数字をマークせよ(解答欄はマークシート k)。

- | | | | | |
|------------------------|-----------------------|----------------------|-------------------------|--------------------------|
| ① 雛 <small>ひいな</small> | ② 駒 <small>うま</small> | ③ 碁 <small>ご</small> | ④ 角力 <small>すまひ</small> | ⑤ 今様 <small>いまでう</small> |
|------------------------|-----------------------|----------------------|-------------------------|--------------------------|

問三 傍線部3「つつましとのみおぼし」はだれの心中を言ったものか。もつとも適切なものを次から選び、その数字をマークせ

よ(解答欄はマークシート 1)。

- | | | | | |
|-----|------|-----|------|-----|
| ① 父 | ② 若君 | ③ 母 | ④ 乳母 | ⑤ 童 |
|-----|------|-----|------|-----|

問四 傍線部4「さがなくて」について。「さがなし」は本来「よい性質がない」という意味の語であるが、ここではどのように現代

語訳するのがよいか、もつとも適切なものを次から選び、その数字をマークせよ(解答欄はマークシート m)。

- | | | | | |
|---------|---------|----------|----------|---------|
| ① もの好きで | ② 気まぐれで | ③ 口ぎたなくて | ④ ひょうきんで | ⑤ おてんばで |
|---------|---------|----------|----------|---------|

問五 傍線部5「いみじう」について。「いみじ」は程度がはなだしい様をいう語であるが、ここではどのように現代語訳するの

- | | | | | |
|---------|---------|---------|--------|--------|
| ① にぎやかに | ② おおげさに | ③ やかましく | ④ みごとに | ⑤ まじめに |
|---------|---------|---------|--------|--------|

問六 傍線部6「御心のうちにぞいとあさましく、かへすかへすとりかへばやとおぼされける」を現代語訳した次の文章の空欄6

A、6 Bに入る語句を、記述解答用紙Ⅲ6の指定に即して答えよ。

父は心中ひそかに

6 A (五字以内)

思い、

6 B (十字以上、十五字以内)

と念じておられた。